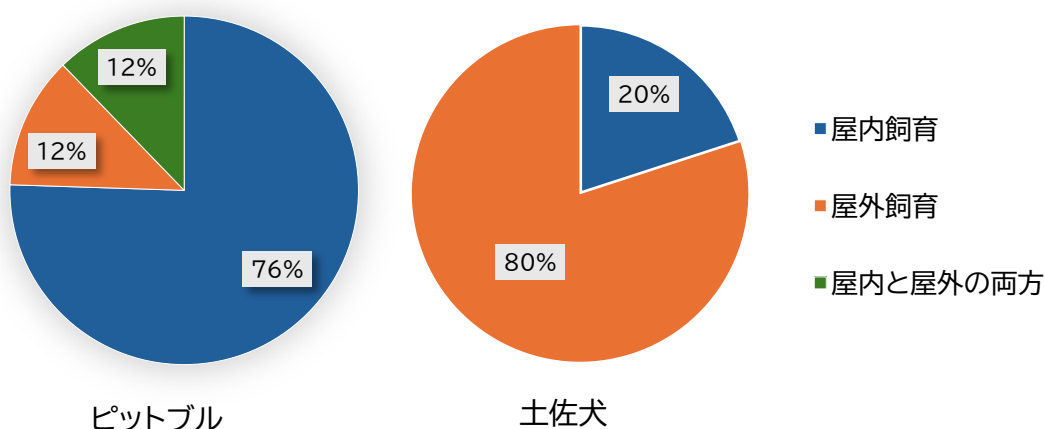


1 闘犬種(ピットブル、土佐犬)を対象とした実態調査及び指導(令和8年2月～)

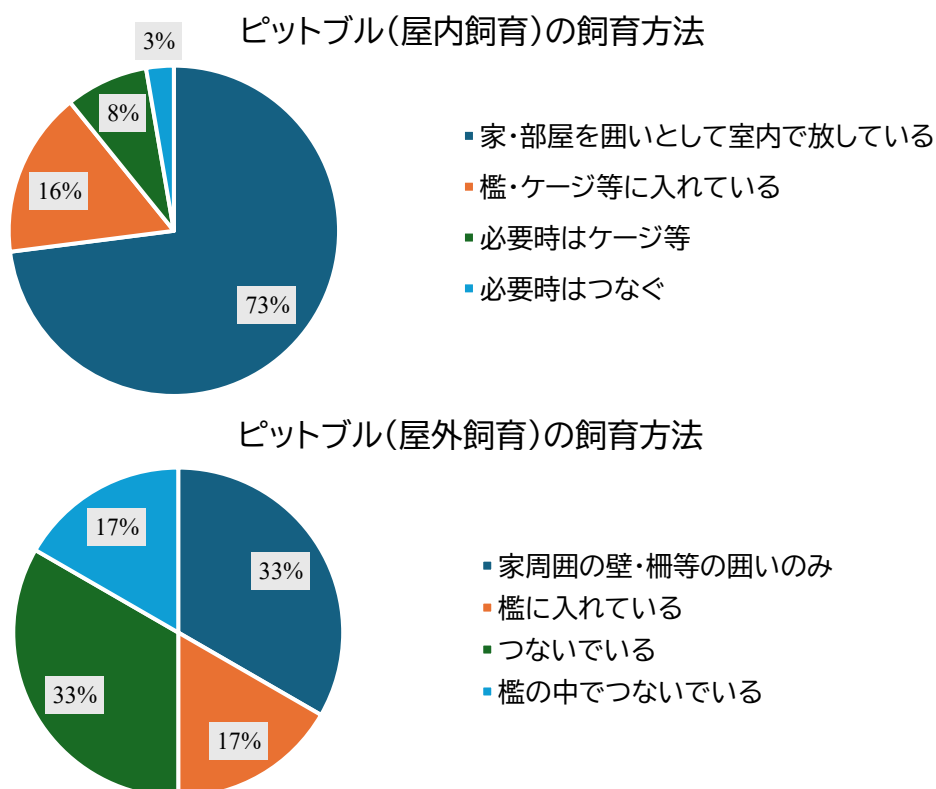
- ・市内のピットブル及び土佐犬を対象に飼育施設を訪問して、飼育状況や散歩方法に関する実態調査を実施し、改善が必要な状況を確認した場合には、適宜、行政指導を行った。
- ・脱走や咬傷のリスクが高い飼い主や放し飼いに対する意識が低い飼い主に対しては、継続的な指導や定期的な注意喚起を実施している。
- ・今後も同様の実態調査を適宜実施していく。

【調査結果(令和8年2～4月実施分)】

(1)飼育場所

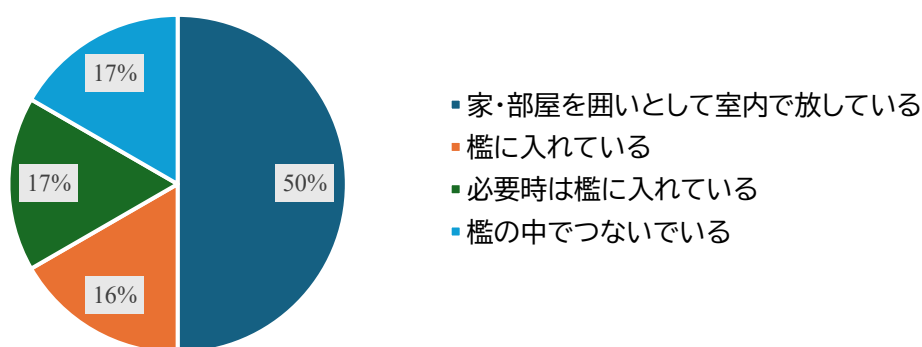


(2)飼育方法(囲い・つなぎ等の方法)

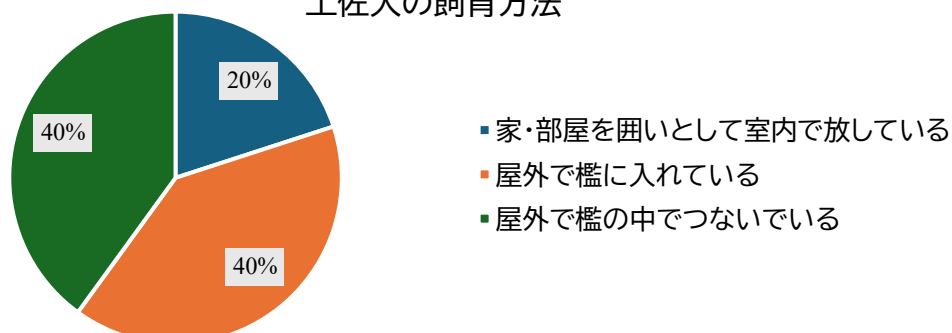


【参考資料 3】 咬傷事故防止対策に関するこれまでの取組み

ピットブル(屋内・屋外併用飼育)



土佐犬の飼育方法



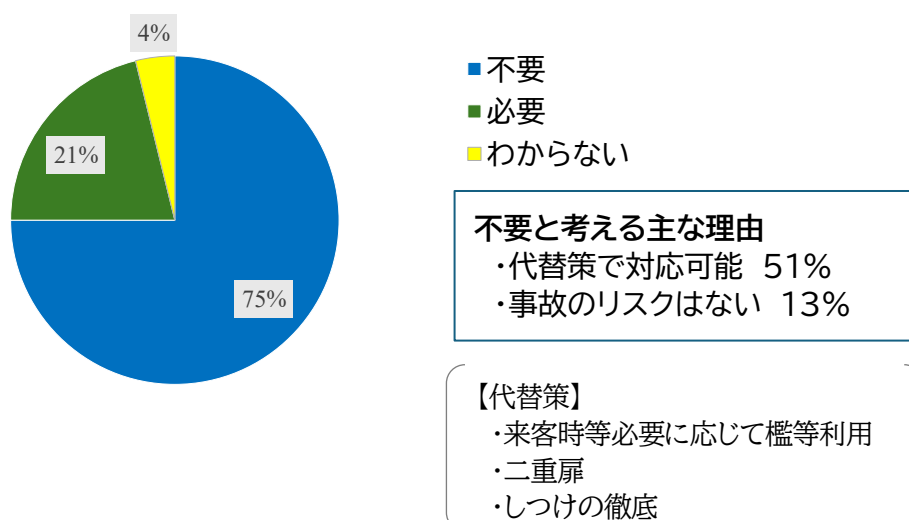
- ・ピットブルを屋内で飼育している飼い主のうち、27%は更なる対策を実施していた。
- ・ピットブルを屋外で飼育している飼い主のうち、33%は囲いが敷地の壁・柵等のみであった。
- ・土佐犬を屋外で飼育する飼い主は、全て檻で飼育していた。

2 闘犬種(ピットブル、土佐犬)飼育者に対する意識調査(実態調査と同時に実施)

「檻で飼育すること」及び「散歩時に口輪を装着すること」に関する飼い主の意識調査の結果を次に示す。

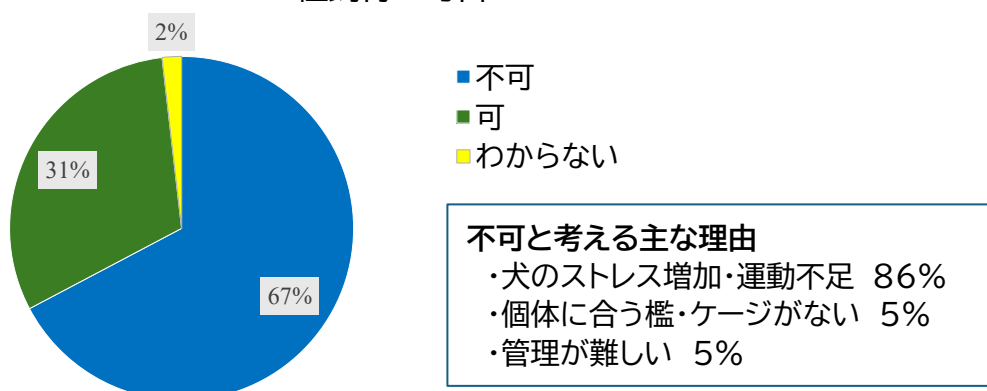
【屋内飼育】

檻で飼育する必要性



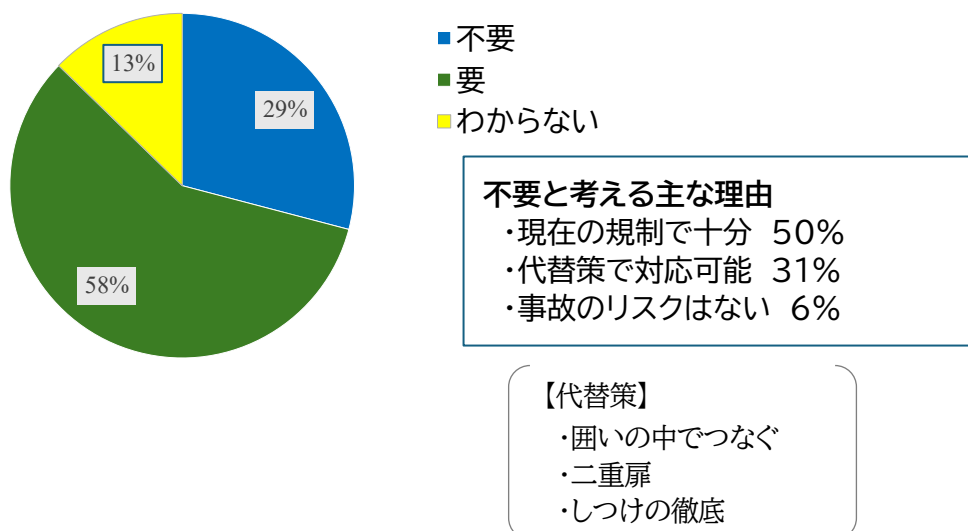
【参考資料 3】 咬傷事故防止対策に関するこれまでの取組み

檻飼育の可否

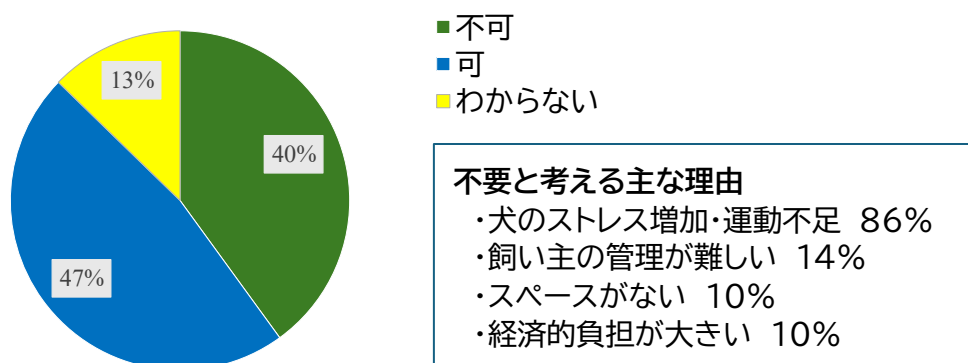


【屋外飼育】

檻で飼育する必要性

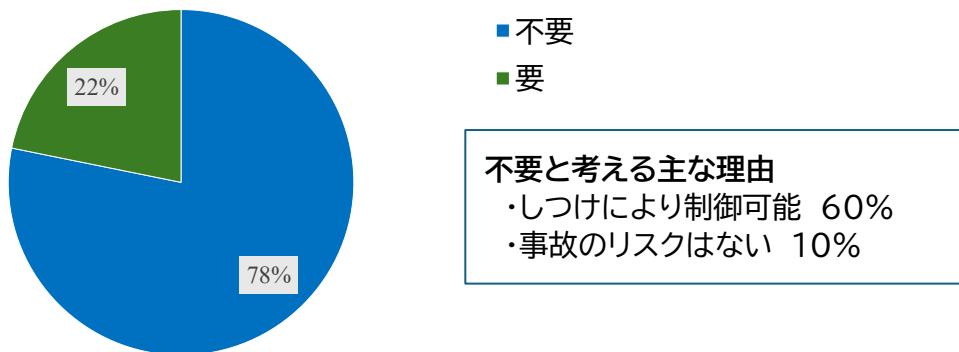


檻飼育の可否



【散歩】

口輪装着の必要性



口輪装着の可否

